

項目	内容
名称	ゼラチン [英]Gelatin [学名]
概要	<p>ゼラチンは、皮膚や骨に存在するコラーゲンを加熱により変性させた可溶性のタンパク質である。無味無臭で、冷やすとゼリー状になるため、食品に添加して形や固さを整えるのに用いられている。また、薬のカプセルなどにも使われている。ゼラチンは、必須アミノ酸であるトリプトファンを欠くため栄養価の低いタンパク質である。</p>
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。 ■ 日本薬局方 ・精製ゼラチンが収載されている。 ■ 食品添加物 ・一般飲食物添加物：製造用剤 ■ 海外情報 ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	

主な成分・性質	・コラーゲンを熱や変性剤、アルカリ処理などで変性させたもの。疎水性アミノ酸が少ない上にプロリンの親水性が高いため変性タンパク質にしては珍しく水によく溶ける。濃厚なゼラチン溶液は冷却するとゲル状になる。エタノールなどの有機溶媒で沈殿する。
分析法	・離乳食中に含まれるゼラチンが酵素抗体法により分析されている (2003039085)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
評価骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (64) 健康食品データベース 第一出版 Pharmacist's Letter/Prescriber's Letter エディターズ(編集) (独) 国立健康・栄養研究所 (監訳) (2003039085) 北海道立衛生研究所報. 1999;49:10-5. (2003024255) Med Postgrad. 2002;40(4):367-70. (2001248944) 日本皮膚アレルギー学会雑誌. 2000;8(2):33-8. (1998127006) 小児科臨床. 1998;51(2):298-302. (1998107664) 小児科. 1998;39(1):105-9. (1998040428) アレルギーの臨床. 1997;17(11):856-8.</p> <p>(2000000801) 日本小児科学会雑誌. 1999;103(7):759-62.. (2010090123) 日本小児皮膚科学会雑誌. 2009;28(2):197. (2012236157) アレルギー. 2012;61(3-4):479. (PMID:25492881) アレルギー. 2014 Nov;63(9):1258-64.</p>